

心のふるさと下呂市を応援してください！

ふるさと寄附金



ふるさと納税とは、ふるさとを離れて生活する人や、その地にゆかりのある方などの「ふるさとを大切にしたい」「大好きなあのまちを応援したい」という気持ちのまちを応援したいという気持ちを形にする制度です。ふるさとの自治体へ寄附を行った場合、確定申告などにより、一定の限度までの個人住民税などが軽減されます。

下呂市では、この「ふるさと納税」による寄附を「下呂市ふるさと寄附金」と名付け、さまざまな事業に活用させていただきます。

寄附のお申し込みは「ふるさと寄附金申出書」を郵送、ファクス、または電子メールで申込先までお送りください。申出書の様式は、お電話で請求いただくか、市のホームページ（<http://www.city.gero.lg.jp/>）から入手できます。

【申込み・お問い合わせ】

経営管理部・総合政策課

TEL 0576・24・22222（内線252）

FAX 0576・25・3250

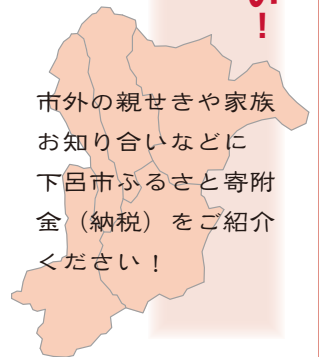
E-mail: sougouseisaku@city.gero.lg.jp

lg.jp

下呂市ふるさと寄附金活用内容

今年度（11月末日現在）は18件、260万円のご寄附をいただきました。皆さまからお寄せいただいた寄附金は、5つの応援メニューに役立らせていただきます。

ありがとうございました。



下呂市ふるさと寄附金 5つの応援メニュー

1. 「尊い命とくらしを守ります」 あんきなふるさと応援事業
（消防・防災・救急体制の整備や防犯灯、通学路の整備など）
2. 「ありがとう みんなが幸せ」 あったかふるさと応援事業
（高齢者福祉、障がい者福祉や子育て支援など）
3. 「あふれる笑顔をいつまでも」 健やかふるさと応援事業
（市民の健康づくり、地域医療の充実など）
4. 「未来へつなげ下呂の恵み」 元気なふるさと応援事業
（温泉・森林・清流等のふるさとの自然や資源の保護など）
5. 「夢へはばたけ」 いきいきげろっ子応援事業
（学校施設やスポーツ環境の整備、国際交流など）

宝くじ助成で除雪機を購入

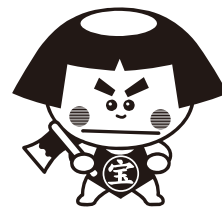
今年の宝くじ助成



財団法人自治総合センターでは、宝くじの普及と広報を図るため、自治会が取り組むさまざまな活動に対してコミュニティ助成を行っています。今年度は次のような助成を受けました。

【経営管理部・地域振興課】

区分	対象団体	対象事業（助成額）
一般	坂下区 （小坂地区）	除雪機 1 台 （助成額：110 万円） 
	井谷自治会 （馬瀬地区）	除雪機 1 台 （助成額：130 万円） 
	小川区 （下呂地区）	除雪機 2 台 （助成額：140 万円） 



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

平成22年度

電源立地地域対策交付金事業報告



電源立地地域対策交付金を受けて、平成22年度には、次の事業を実施しました。事業名と事業費（千円以下を四捨五入・カッコ内は交付金充当額）をご紹介します。

【経営管理部・財政課】

【電源立地地域対策交付金】

電源立地地域の活性化を図るための国からの交付金。発電用施設の運用の円滑化などを図るため、発電所などがある市町村へ、公共施設の整備や住民福祉の向上のための事業に対して交付されます。

平成22年度 交付金事業 内 訳

事業総額 1,439万円 交付総額 1,260万円

小型動力ポンプ積載車購入事業

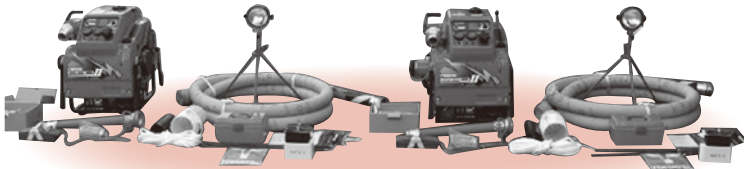
(2台分) 1,082万円 (960万円)



配備先：小坂方面隊第2分団第2部（長瀬・坂下）

小型動力ポンプ購入事業（2台分）

357万円 (300万円)



配備先：小坂方面隊第2分団第2部（坂下）・下呂方面隊第2分団第3部（三ツ石）

■馬瀬診療所を休診

馬瀬診療所の診療業務が現在休診となっています。指定管理者の日野昭民医師から健康上の理由で管理者辞退の申し出があり、11月末で管理者を解除したためです。市では直営として診療所の維持を図るため、現在、市医師会等との連携、調整や関係機関への要望等により、早期開院をめざしていますので、ご理解をお願いします。

日野医師は、昭和40年に新設された馬瀬診療所へ赴任され、平成20年からは指定管理者制度で引き続き地域医療の要として、住民の健康管理を約45年間の永きにわたり尽力していただきました。

【健康医療部・医療対策課】

■新クリーンセンター

建設用地候補地の応募はなし

10月1日から11月30日の2カ月間、新建設用地候補地の公募を実施してきましたが、期間中に応募された候補地はありませんでした。

現施設の耐用年数は平成25年に迎えることとなり、新施設の建設が急務となっています。昨年度、行政が中心

となって進めてきた候補地計画は

断念することになり、今年度、これらの経緯を踏まえ検討委員会を設置。その中で公募しましたが、今回の結果を受け、検討委員会において再度、今後の候補地選定について協議することとなります。

廃棄物処理施設は、私たちが生活する上で必要不可欠な施設です。そのため、施設の必要性や安全性などをご理解いただき、一緒になって新施設の建設に取り組むことが重要となっています。

皆さんのご理解とご協力をお願いします。

【環境部・環境施設課】

◆おめでとう（敬称略）

高齢者叙勲 旭日単光章

▽中島稔（元小坂町議会議員）小坂町湯屋

県中学校新人剣道大会【女子】優勝

▽下呂中学校剣道部

第19回県中学校駅伝競走大会【女子】・5位入賞

▽金山中学校陸上部

短 信